

鹿本学園 学校図書館の歴史

開校前のオープンライブラリーの試行から開校3年目の夏の改装までの記録です。

平成25年12月末 母体校の旧江戸川特別支援学校内にオープンライブラリーのもととなる書架を設置する（鹿本学園開設準備室が実施）。



オープン型書架設置前の廊下



オープン型書架設置後の廊下

平成26年 1月 母体校の旧江戸川特別支援学校の児童・生徒を対象に図書の新着出しを始める。このときから貸出システムの電子化を行う（鹿本学園開設準備室が実施）。



新しい図書約200冊と都立図書館から譲渡された図書を2か月間貸出を行いました。貸出用のパソコンは鹿本学園開設準備室内（現在の図書室）に設置しました。



旧江戸川特別支援学校の技能主事室前に国立国会図書館国際子ども図書館からお借りした世界の図書を配架して学習に使えるようにしました。現在ここはメモリアルコーナーになっています。

平成26年 4月 鹿本学園開校に伴い、図書室を母体校の旧江戸川特別支援学校では2階の職員室の並びにあったものを1階の人通りが多い場所(旧開設準備室)に移転しました。肢体不自由教育部門中学部高等部B学習グループの作業学習の授業の中で図書の整備作業を行い、教員による作業と併せて図書室の準備を行いました。4月中旬には貸出準備がほぼ終わり、4月下旬から貸出を始めました。



平成26年 7月 1年目1学期の図書館の様子です。



平成26年12月 肢体不自由教育部門棟2階職員室前にもオープンライブラリーを設置することになり、地元の江戸川区の会社により設置されました。1階のオープンライブラリーの書架とは若干仕様が異なります。



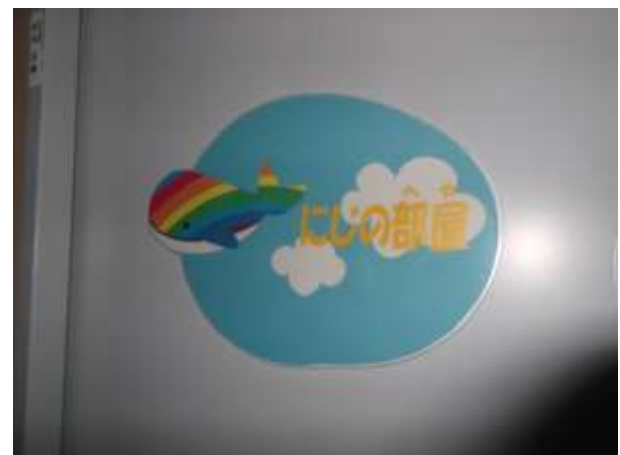
平成27年 1月 肢体不自由教育部門棟2階職員室前のオープンライブラリーに図書を配架しました。2階には中学部・高等部があるので、中高生向けの図書を集めて配架しました。このときはハリーポッターの特設コーナーを作りました。



平成27年 2月 室内の装飾を美術の授業で作ってもらったり、司書教諭が室内の展示の工夫をしたりしてにぎやかな図書室になりました。



平成28年 2月 新しく建てられた知的障害教育部門棟のにじの部屋にも図書を少しですが配架しました。この部屋はおもちゃなどがあり、児童・生徒が好きな活動を行うことができる部屋です。



平成28年 2月 児童文学評論家の赤木かん子先生をお招きして、本の救出大作戦と称してブックカバー（ブッカー）の掛け方の講習会を保護者を対象に行っていました。



平成28年 6月 児童文学評論家の赤木かん子先生に御助言いただいて、紙芝居を集めた紙芝居コーナーを作りました。設置に当たっては、本校保護者の皆様に御協力いただきました。



平成28年 8月 児童文学評論家の赤木かん子先生に御助言いただいて、夏季休業中に図書室のリニューアルを行いました。図書室から全ての図書を隣の家庭科室に移動し、今後残す図書、廃棄する図書を分類しました。相当数の図書を廃棄しました。書棚も全て廊下に出し、図書室内の天井から床まできれいに磨き上げました。書棚の配置も見直しを行い、車いすで回遊できるように中央の書棚をなくしました。ソファを設置しくつろげる場所を用意しました。図書の配架もテーマ別に変え、統一したシールを貼り、書棚の上にもパネルを貼り分かりやすくしました。外部のボランティアの方にお手伝いいただくとともに、本校の司書教諭、情報メディア部の教員で行いました。

